

遮光シートによるナガエツルノゲイトウ駆除作業実施報告

2014年4月22日

美しい手賀沼を愛する市民の連合会

美しい手賀沼を愛する市民の連合会では、2012年度より手賀沼流域フォーラムの調査事業として、ナガエツルノゲイトウの繁茂状況を把握してきたが、2013年度は爆発的な増大が確認され、10月には小池ボートの棧橋に大きな群落流れ着き、船が出せなくなるという被害が発生した。

この間、ナガエツルノゲイトウの駆除について情報収集し、大阪府立環境農林水産総合研究所水生生物センターが遮光シートによる駆除実験に成功しているとの情報を得た。遮光シートで2年間被い、完全に枯れ死させる方法である。確実に効果が期待できることから、3月23日遮光シートの設置作業を実施した。これは、千葉県河川海岸アダプトプログラムに申請し、柏土木事務所と協働で実施した。



2014年3月16日撮影

1. 作業場所

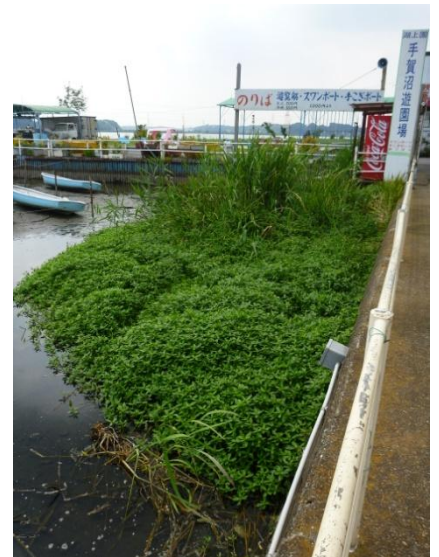
手賀沼公園 湖上園棧橋横の角地 (対象面積は8m×20m)

2. 遮光シート

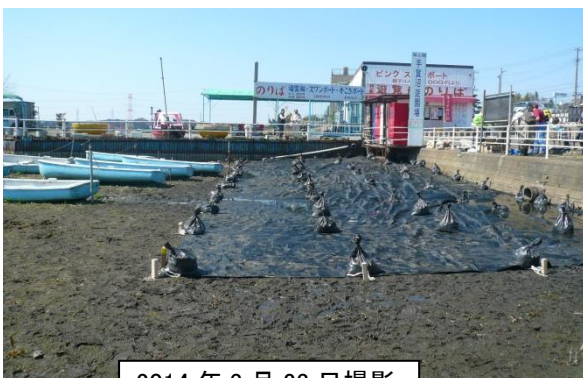
日本ワイドクロス株式会社製ワイドスクリーン (遮光率95%)

3. 設置作業手順

シートを敷き、シートのハトメ穴の位置に合わせて、シート外側に木杭・鉄筋杭を打ち込む。木杭にはヒートンを打ち込み、ロープでシートのハトメにつなぐ。遮光土嚢 (重さ20kg位) 55個をシート上に置き固定した。



2013年8月29日撮影



2014年3月23日撮影



2014年3月29日撮影